

ローズグラスの品種と刈取頻度

佐藤博保・中川 仁(九州農業試験場)

SATO, H. and H. NAKAGAWA : Cutting Effect on the Yield of Rhodes Grass Cultivars

ローズグラスは最近ようやく広く認識されるようになり、年間の種子輸入量も90 tに達し、栽培面積も増加の一途をたどっている。現在、長野、熊本両種畜牧場で種子生産をしているが、大部分はオーストラリア、ケニア等からいくつかの特徴ある品種の種子が市販されており、特性の調査も行なわれているが、今回は刈取頻度がどのように各品種の収量に影響を与えるかを調査してみた。

1. 試験方法

国内で入手できるローズグラス、2倍体5品種、4倍体5品種、計10品種を供試(第1表)し、刈取頻度を3回と5回とした。各刈取日は次の通りである。

3回刈：7月9日、8月18日、9月29日

5回刈：7月9日、7月30日、8月24日、9月22日、10月19日

試験区は50cm条播で2×3=6(m²)、分割区法3反復した。施肥量は基肥にN、P₂O₅、K₂O共1kg/a、追肥は各刈取時毎にN、K₂Oを各1kg/a施した。播種は5月13日で1kg/a播きである。

2. 試験結果

まず、刈取頻度をこみにして品種別生草収量をみると、最も多収であったのはフォーズカタンボラの947kg/aで他に900kg/aを越えたのはマサバとボマがあった。逆に最も低収となったのはバイオニアの636kg/aで、前の3品種と有意差があり、700kg/a台で終わったのは栃酪系、ムバララ、ポコットがあった。又、品種をこみにして刈取頻度の収量をみると、3回刈で833kg/a、5回刈取で826kg/aで両者に差が少なく、刈取回数を多くしたからといって必ずしも収量は多くならないことを示した。次に、品種毎に刈取頻度による収量の多寡をみると、5回刈より3回刈の方が収量の劣った品種としてガンソン、ポコット等があり、又、3回刈の方が優れた品種としては栃酪系、カタンボラ、マサバ等があるが交互作用の効果が有意でなく、今後更に検討を必要とした(第1表)。

次いで、各刈取毎に品種収量がどのように変動するかを5回刈を例にして示したのが第2表である。全体的にみると、生育盛期となった3番草が最も多く、次いで1番草であり、5番草が最も少なかった。2倍体の中で収量推移をみると、バイオニア、栃酪系は各番草で平均以下の収量で

あるがとりわけ生育が旺盛になる3番草、1番草での収量の低下が目立った。これは回帰係数が0.56であったことからもうなずけられた。逆にカタンボラは生育の盛期に多収になる品種であり、フォーズカタンボラも同様の傾向にあった。4倍体の中では特に特徴のある収量推移を示す品種は見出し難く、5品種は合計収量では差があるものの、ほぼ同様の収量推移を示すものと思われた。

第1表 刈取頻度別ローズグラス品種の生草収量(kg/a)

品 種 名	3回刈	5回刈	平 均	%
バイオニア	676	604	636	67
栃 酪 系	807	705	756	80
ガ ン ソ ン	795	920	858	91
2x フォーズカタンボラ	946	947	947	100
カ タ ン ボ ラ	905	807	856	91
平 均	826	797	811	
ム バ ラ ラ	769	824	796	84
エ ル ン バ	780	842	811	86
4x マ サ バ	979	852	915	97
ボ マ	926	922	924	98
ポ コ ッ ト	726	795	760	80
平 均	836	847	841	

第2表 5回刈の各番草別収量比*と環境回帰

品 種 名	1番草	2	3	4	5	計	回帰係数
バイオニア	62	86	77	69	93	76	0.56
栃 酪 系	86	95	79	99	96	90	0.56
ガ ン ソ ン	120	124	104	123	114	116	0.80
2x フォーズカタンボラ	128	112	123	113	110	119	1.16
カ タ ン ボ ラ	105	83	117	98	87	101	1.20
平 均	100	100	100	100	100	100	
(kg/a)	(195)	(143)	(243)	(112)	(104)	(797)	
ム バ ラ ラ	101	90	94	98	109	97	1.01
エ ル ン バ	86	110	101	101	103	99	1.09
マ サ バ	100	102	104	97	94	101	1.22
4x ボ マ	132	93	105	110	98	109	1.07
ポ コ ッ ト	82	104	97	92	96	94	1.06
平 均	100	100	100	100	100	100	
(kg/a)	(181)	(134)	(297)	(137)	(98)	(847)	

* 2x 群、4x 群の各番草の品種平均を100とした数字